

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2047	
日 時 2023年12月02日(土)曇	
山 域 天城・十郎左エ門 (945m)	
コース 長泉町 6:00-小鍋-東尾根取り付き 7:59-小さな神社-祠 8:21-・548m峰南コル林道 9:45-・780m峰(昼食) 11:30~12:50-・779m(この2万千図標高表示注目) 13:03 -南尾根-大鍋林道 15:03-尾根取り付き 15:66-長泉町	
標高差 上り 東尾根取り付き約110m~・779m=約669m+ $\alpha$ 下り ・779m峰~林道約240m=約539m	
難易度 非常に困難 困難 <b>レ</b> やや <b>困</b> 難 普通 やや易しい 易しい	
<b>天城の怪峰は、遠かった</b>	
参加者 後藤、加藤、合谷=3名	

十郎左エ門は、過去、何回か上っている。奇妙な山名だが、れっきとした山だ。天城は、長九郎山、万二郎岳、万三郎岳、達磨山(達磨大師)、ほか2万5千図表記はないが、後藤山、天子山、平氏ヶ岳、馬夫石など、人名に関わる山名が幾つかある。

今回は、未踏の東尾根を上った。東尾根は、長大な尾根で地図上約7kmある。従って、上り下りを加えれば、更に長くなる。陽が短い初冬で夕暮れが気になった。



神社

酒瓶??

車は天城トンネルを越え小鍋集落着。更に奥に大鍋集落があり、大鍋林道が松崎町に伸びている。東尾根取り付きは、標高約110mの小さな神社から始まった。神社に野良猫が数匹いた。

取り付きから急登が始まった。下部は人工林で鬱蒼としている。辺りは、ナチ(那智滝周辺で発見された)シダ自生北限とかで、大きく一派なシダが沢山生えていた。

何処でも見るようなシダだが、北限とは、これ以上北には生えていないということだろうか??



ナチシダ（五角形が特徴という）

特徴がなく展望もない、暗く寒い尾根を黙々と上る。これは「修行」以外、何ものでもない。・標高点 548m峰手前のコルに林道らしきものが現われた。地図には、先日上った猿山の萩ノ入川から伸びていた。が、林道はコル南で止まっていた。

ここからがダラダラと長かった。ようやく・779m手前のピークに着いた。時間は、11:30。ここで昼食にした。昼食は、うどんだった。陽が短いので、先の・779mから下るのが、正解だろう。とても山頂まで行けなかった。初冬の山の難しさである。



ピーマン焼き



うどん

食後、一旦下り・779mから南尾根を下る。この尾根も二か所間違った。・647mからなだらかな尾根が続いた。標高約400m付近で杉道が現われた。ルートを一歩左にとったら、藪に突入。右の尾根に逃げて、何とか大鍋林道に下った。

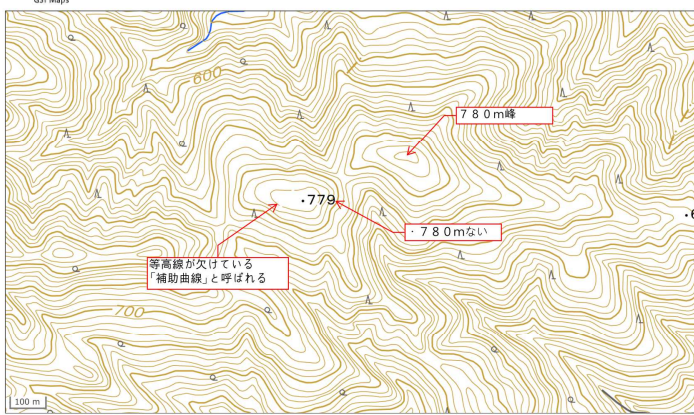
大鍋林道は、取り付きまで4km以上あり長かった。途中の民家に、余り見かけない珍しい花があった。丁度、家主さんが帰って来て、聞いたが、家主さんも??だった。

路傍には、歴史的な街道らしく、石仏が点在していた。かつては、多くの旅人が往来したであろう。しかし、この道は、松崎まで長い。

神社に着くと、また猫たちが寄って来た。この寒空の下、心配。大丈夫かな。

## 特記

地理院地図



今回、昼食を済ませた場所は標高780m峰。等高線750mから主曲線が3本で780mとなる。標高点はない。

昼食後、西の標高点・779m峰に移り下山した。

この・779m峰は、等高線を確認すると、お隣の780m峰同様、750mから3本あるから、一見、780mあるように見える。

が、表示は、・799m。何故だろう??

等高線をよく観察すると、等高線が一本の線でなく、部分的に欠けていることが分かる。この等高線は、「補助曲線」と呼ばれるもので、国土地理院は、下記のように定義している。

・・・補助曲線とは、緩やかに傾斜しているところや複雑な地形をしている地域などで、主曲線だけではその特徴をあらわすことが不十分な部分に、わかりやすくするために表示する等高線のことをいいます。補助曲線は、主曲線と主曲線の間を5メートルまたは2.5メートルごとに表示します・・・

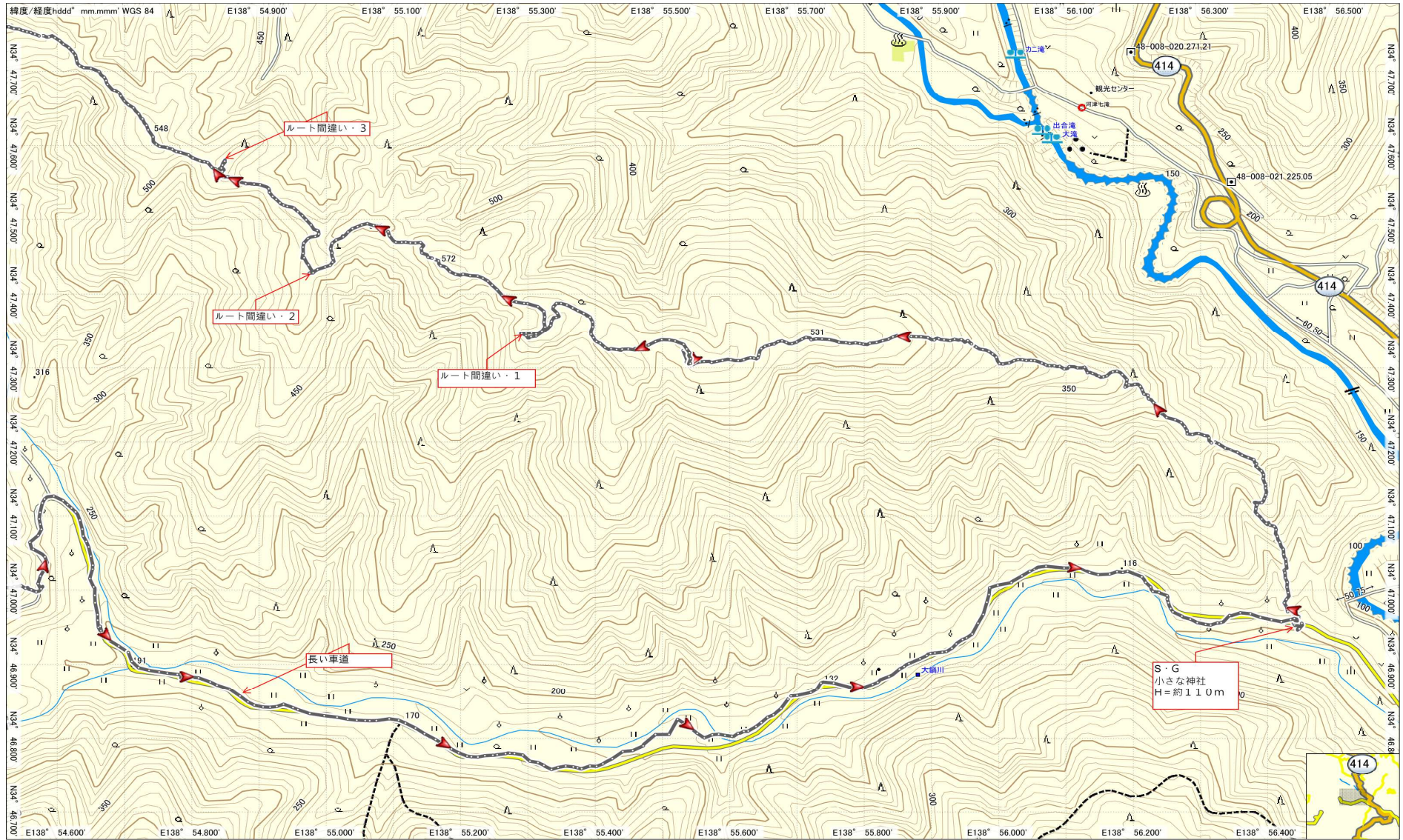


ただ、このような地形は、何処でもあると思うが、何故、ここがそのような表示になっているか不明。

果たして、地図を製作する方の感性・個性だろうか?

この辺は、確認したものです。

・799m峰



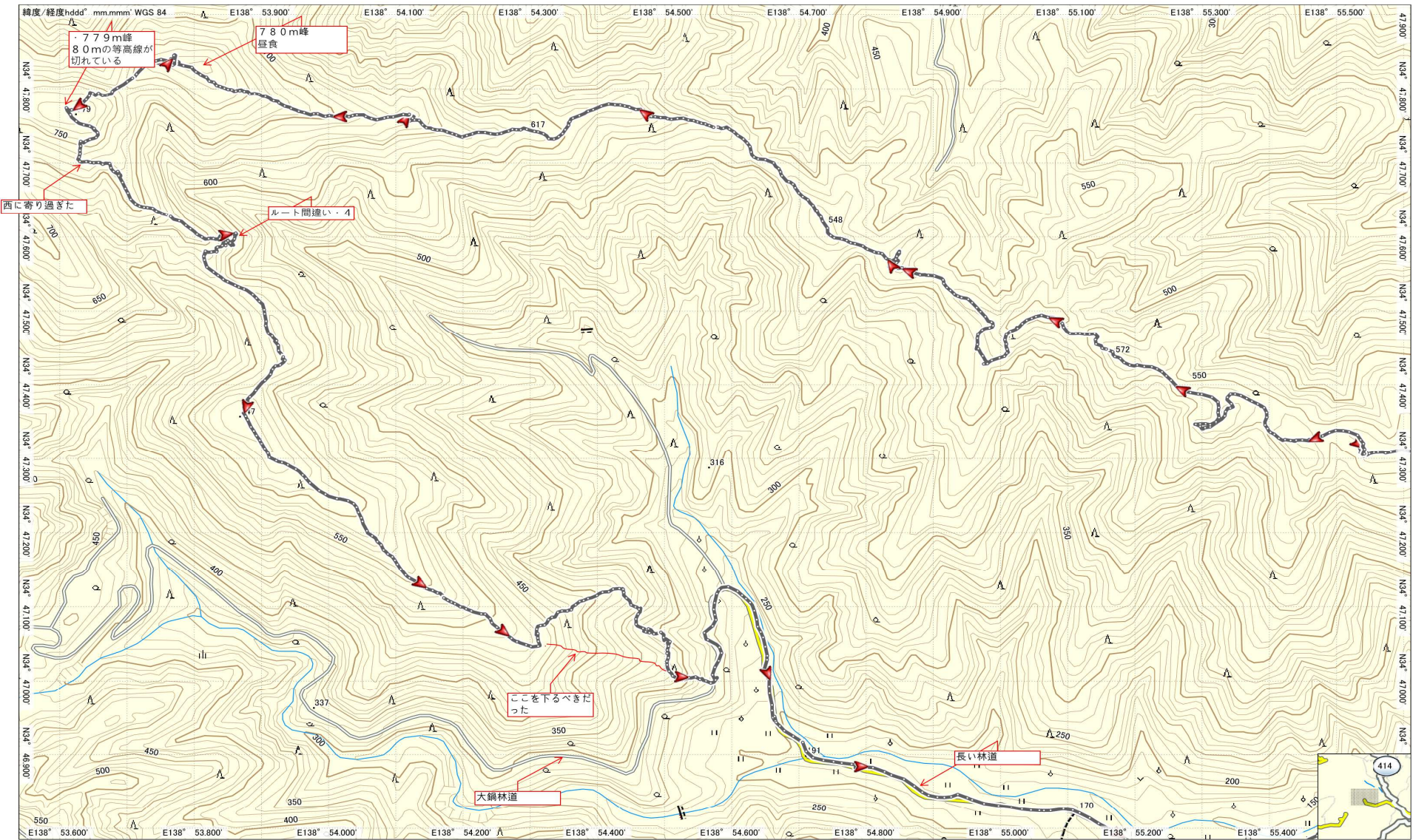
Japan Topo 10M Plus V3  
 GarminMapService Co., Ltd 2014  
 Garmin Corporation 1999-2014

2023/12/07 15:13:04



GARMIN





Japan Topo 10M Plus V3  
 © Garmin/Mapinfo Co., Ltd 2014  
 Garmin Corporation 1999-2014

2023/12/07 15:13:04